



# いばらき県議会だより

No.176

県議会のホームページ <http://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>  
県議会携帯サイト <http://mobile.pref.ibaraki.jp/?page=3044>



発行:茨城県議会 編集:県議会情報委員会  
〒310-8555 水戸市笠原町978番6  
Tel. (029) 301-5646 [年4回発行]



## がんばろう！茨城

6月4日(土)震災後初めて使用された県立カシマサッカースタジアムでの震災復興チャリティーイベント



スタジアム敷地内に設置された太陽光発電パネルの屋根付き通路



被災した県内児童を招待



ゴールして観客に応えるジーコ選手

### 今定例会の概要

平成二十三年第二回定例会は、六月六日から六月二十日まで十五日間の会期で開かれました。

議案は、知事から平成二十三年度茨城県一般会計補正予算など、議員から養護老人ホームの運営の支援拡充を求める意見書などが提出されました。

一般質問は、今回から議会改革の一環として、午前開会となり、一日四人の八人が、本県農水産物の風評被害対策、国の広域防災拠点の誘致、圏央道早期開通への取り組み、原発事故の全産業への損害賠償、今後の災害弱者の避難誘導対策、消防団の充実と自主防災組織結成の支援、県奨学資金制度の見直し、TX沿線地域の魅力あるまちづくりなどについて質問しました。(二・三面)

各常任委員会は、付託議案の審議、その他所管事務に関する質疑を行い、風評被害払しょくのための県外へのPR、病院や高齢者施設での節電、県立中央病院の今後の機能強化の方向性、原状回復だけではない施設復旧の措置、震災時の地元企業の地域貢献、放射線から子どもたちを守るための取り組みなどを議論しました。(四・五面)

予算特別委員会は、付託議案の審査のほか、東日本大震災における災害発生時の初動対応の課題、震災復興基金の創設、県産材の利用促進の取り組み、広域災害時の緊急医療体制、東海第二原発の運転再開問題、茨城空港の国際線の増便や新規路線の誘致、児童生徒が受ける放射線量低減対策、原発事故の損害賠償請求の状況、公共工事の建設資材指定工場制度、首都機能移転などの質疑を行いました。(七面)

東日本大震災復興・元氣ないばらきづくり調査特別委員会では、大震災からの復興とさらなる発展方策等について調査を進めるとの方針と、活動計画など、委員会運営の基本的な事項を決定し、被害状況の調査を行いました。(八面)

今回の定例会では、予算、条例、人事、報告、意見書などの三十六件の議案などが可決、同意、承認されました。